

1. ^{みな} 皆さん, ^{にほんご きょうし} こんにちは。日本語 教師のまみです。
여러분, 안녕하세요. 일본어 선생님, 마미예요.
2. ^{こんしゅう わたし こえ き き} 今週 も, 私 の声を聞きに来てくれて, ^{ほんとう} 本当にありがとうございます。
이번 주에도 제 목소리를 들으러 와주셔서 정말 감사합니다.
3. ^{きょう} 今日のエピソードでは, ^{きょうと} "京都" ^{はな} についてお話ししたいと思います。
오늘 에피소드에서는 '교토'에 대해 이야기해 보려고 해요.
4. ^{みな} 皆さんは, ^{きょうと い} 京都に行ったことがありますか?
여러분은 교토에 가본 적 있으세요?
5. ^{かんこく} 韓国から^{にほん} 日本へ^{りょこう} 旅行するときは, ^{とうきょう} 東京や^{おおさか} 大阪を^{おとず} 訪れる人が多いですよね。
한국에서 일본으로 여행 갈 때는 도쿄나 오사카를 찾는 분들이 많잖아요.
6. ^{つぎ} でも, "次は^{きょうと} 京都にも^{おこな} 行ってみたい" ^{おも} と思っている ^{ひと} 人も, ^{おも} きっとたくさんいるのではないでしょうか。
그런데 "다음엔 교토에도 가보고 싶다"고 생각하는 분들도 분명 많을 거예요.
7. ^{きょうと} 京都は, ^{ふる} 古い^{てら} お寺や^{じんじやうつく} 神社, ^{まちな} 美しい町並み, ^{にほん} そして日本らしい^{ぶんか} 文化を^{かん} 感じられる, ^{とて} とても^{みりょくてき} 魅力的な^{ばしょ} 場所です。
교토는 오래된 절과 신사, 아름다운 거리 풍경, 그리고 일본다운 문화를 느낄 수 있는 정말 매력적인 곳이에요.
8. ^{きょう} 今日, ^{きょうと} そんな^{みりょく} 京都の^{はな} 魅力について, ^{はな} ゆっくりお話ししていきます。
오늘은 그런 교토의 매력에 대해 천천히 이야기해 볼게요.
9. ^{きょうと} 京都は, ^{わたし} 私が^{こじんてき} 個人的に, ^{なん} 何度^{おこな} 行っても^あ 飽きない^{まち} 街だと^{おも} 思っています。
교토는 저 개인적으로 몇 번을 가도 질리지 않는 도시라고 생각해요.
10. ^{きょう} 今日, ^{せんねん} 千年の都, ^と 京都の^{みりょく} 魅力を^{はなし} 的ぞいてみよう" ^{はなし} という話です。
오늘의 주제는 "천년의 도읍, 교토의 매력을 들여다보자"라는 이야기예요.
11. ^{きょうと} まず, ^{まち} 京都が^{すこ} どんな^{れきし} 街なのか, ^{はなし} 少しでも^{はなし} 歴史の話を^{はなし} しますね。
먼저 교토가 어떤 도시인지, 역사 이야기를 조금만 해볼게요.
12. ^{きょうと} 京都は, ^{むかし} 昔, ^{にほん} 日本の^と "都" ^と でした。
교토는 옛날에 일본의 '도읍'이었어요.

13. とくに ちゅうしん まち いま しゅと ばしょ
"都"というのは、国の 中心 になる街、今でいう首都のような場所のことです。

'도읍'이라는 건 나라의 중심이 되는 도시, 지금으로 말하면 수도 같은 곳을 말해요.

14. きょうと せんねんいじょう ま にほん と い
京都は、千 年 以上もの間、日本の都だったと言われています。

교토는 천 년 넘게 일본의 도읍이었다고 해요.

15. きょうと せんねん と よ せんねん なが
だから、京都のことを、"千 年の都"と呼ぶこともあります。千 年って、すごく長い
すよね。

그래서 교토를 '천년의 도읍'이라고 부르기도 해요. 천 년이라니, 정말 긴 시간이지요.

16. なが じかん なか てら じんじゃ ふる たても の つく いま たいせつ の こ
その長い時間の中で、たくさんのお寺や神社、古い建物が作られて、今も大切に残さ
れています。

그 긴 시간 동안 수많은 절과 신사, 오래된 건물들이 지어졌고, 지금까지도 소중히 남아 있어요.

17. まち ある むかし にほん ふんいき かん
街を歩いているだけで、昔 の日本の雰囲気を感じられるんですよ。

거리를 걷는 것만으로도 옛 일본의 분위기를 느낄 수 있어요.

18. きょうと なに おも う
それでは、京都といえば、まず何を思い浮かべますか？

그럼 교토 하면 제일 먼저 뭐가 떠오르세요?

19. てら じんじゃ
やっぱり、お寺や神社ではないでしょうか。

역시 절이나 신사가 아닐까요?

20. きょうと ゆうめい てら じんじゃ ほんとう
京都には、有名なお寺や神社が、本当にたくさんあります。

교토에는 유명한 절과 신사가 정말 많아요.

21. わたし しょうかい きよみずでら
いくつか、私のおすすめを 紹介 しますね。まずは、清水寺 です。

그중에서 제가 추천하는 몇 곳을 소개해 드릴게요. 먼저는 기요미즈데라예요.

22. きよみずでら たか ばしょ た てら おお き ぶたい ゆうめい
清水寺 は、高い場所に建てられたお寺で、大きな木の舞台がとても有名 です。

기요미즈데라는 높은 곳에 지어진 절인데, 커다란 나무 무대로 아주 유명해요.

23. ぶたい きょうと まち みお けしき ほんとう
その舞台から 京都の街を見下ろすと、景色が本当にきれいなんですよ。

그 무대에서 교토 시내를 내려다보면 경치가 정말 예뻐요.

24. しみず ぶたい と お ことば き
"清水の舞台から飛び降りる" という言葉を聞いたことがありますか？

"기요미즈 무대에서 뛰어내리다"라는 말, 들어보신 적 있으세요?

25. おも き おお けつだん いみ ひょうげん
これは、"思い切って、大きな 決断 をする" という意味の 表現 です。

이건 "과감하게 큰 결단을 내리다"라는 뜻의 표현이에요.

26. ^{きよみずでら} ^{ぶたい} ^{たか} ^{つぎ} ^{きんかくじ}
それくらい、清水寺の舞台は高い、ということですね。次に、金閣寺です。

그만큼 기요미즈데라의 무대가 높다는 뜻이겠죠. 다음은 긴카쿠지예요.

27. ^{きんかくじ} ^{なまえ} ^{とお} ^{たても} ^{そとがわ} ^{きんいろ} ^{かがや} ^{てら}
金閣寺は、その名前の通り、建物の外側が金色に輝いているお寺です。

긴카쿠지는 그 이름처럼 건물 외벽이 금빛으로 빛나는 절이에요.

28. ^{いけ} ^{まえ} ^た ^{きんいろ} ^{てら} ^{みず} ^{うつ} ^{ほんとう} ^{ゆめ} ^{けしき}
池の前に立つと、金色のお寺が水に映って、本当に夢のような景色になります。

연못 앞에 서면 금빛 절이 물에 비쳐서 정말 꿈같은 풍경이 펼쳐져요.

29. ^は ^ひ ^{ゆき} ^ふ ^ひ ^{きんかくじ} ^{うつく} ^い
晴れた日は、もちろんきれいですが、雪が降った日の金閣寺も、すごく美しいと言わ
れています。

맑은 날은 물론 아름답지만, 눈이 내린 날의 긴카쿠지도 정말 아름답다고 해요.

30. ^{わたし} ^{だいす} ^{ふしみいなりたいしゃ}
そして、私が大好きなのが、伏見稲荷大社です。

그리고 제가 정말 좋아하는 곳이 후시미이나리 신사예요.

31. ^{あか} ^{とりい} ^{なら} ^{せかいじゅう} ^{ひと} ^し
ここは、赤い鳥居がずらりと並んでいることで、世界中の人に知られています。

이곳은 빨간 도리이가 줄줄이 늘어서 있는 것으로 전 세계에 알려져 있어요.

32. ^{とりい} ^{じんじゃ} ^い ^{くち} ^{あか} ^{もん}
"鳥居"というのは、神社の入り口にある、赤い門のようなもののことです。

'도리이'라는 건 신사 입구에 있는 빨간 문 같은 걸 말해요.

33. ^{とりい} ^{なんせんほん} ^{やま} ^{うえ} ^{つづ}
その鳥居が、何千本も、山の上までトンネルのように続いているんですね。

그 도리이가 수천 개나 산 위까지 터널처럼 이어져 있어요.

34. ^{なか} ^{ある} ^{ふしぎ} ^{きも}
その中を歩いていると、不思議な気持ちになります。

그 안을 걷다 보면 신비로운 기분이 들어요.

35. ^{がいこく} ^{かんこうきゃく} ^{にんき} ^{ばしょ}
外国からの観光客にも、すごく人気のある場所ですよ。

외국에서 온 관광객들에게도 정말 인기 있는 곳이에요.

36. ^{てら} ^{じんじゃ} ^{はなし} ^{つぎ} ^た ^{もの} ^{はなし} ^{おも}
さて、お寺や神社の話の次は、やっぱり食べ物の話をしたいと思います。

자, 절과 신사 이야기 다음에는 역시 음식 이야기를 해보고 싶어요.

37. ^{みな} ^{まっちゃ} ^す ^{きょうと} ^{まっちゃ} ^{ゆうめい} ^{まち}
皆さんは、抹茶は好きですか？ 京都は、抹茶がとても有名な街です。

여러분은 말차 좋아하세요? 교토는 말차로 아주 유명한 도시예요.

38. ^{まっちゃ} ^{ちゃ} ^は ^{こま} ^{こな} ^{すこ} ^{にが} ^{ふか} ^{あじ}
"抹茶"というのは、お茶の葉を細かい粉にしたもので、少し苦くて、深い味がします。

'말차'라는 건 차잎을 곱게 가루로 만든 건데, 살짝 쓰면서 깊은 맛이 나요.

39. ^{きょうと} 京都では、その ^{まっちゃ} 抹茶を ^{つか} 使った、いろいろな ^{たの} スイーツを楽しむことができます。

교토에서는 그 말차를 사용한 다양한 디저트를 즐길 수 있어요.

40. ^{まっちゃ} 抹茶の ^{まっちゃ} アイスクリーム、^{まっちゃ} 抹茶の ^{まっちゃ} ケーキ、^{まっちゃ} 抹茶の ^{まっちゃ} パフェ。

말차 아이스크림, 말차 케이크, 말차 파르페.

41. ^{かんが} 考 ^た えた ^{わがし} だけで、^{わす} 食べた ^{わす} くな ^{わす} ってきます ^{わす} ね。それから、^{わがし} 和菓子 ^{わす} も ^{わす} 忘れて ^{わす} はい ^{わす} けません。

생각만 해도 먹고 싶어지네요. 그리고 화과자도 빼놓을 수 없어요.

42. "^{わがし} 和菓子" ^{にほん} というのは、^{でんとうてき} 日本の ^{かし} 伝統 ^{かし} 的な ^{かし} お菓子 ^{かし} の ^{かし} こと ^{かし} です。

'화과자'라는 건 일본의 전통 과자를 말해요.

43. ^{きょうと} 京都の ^{わがし} 和菓子 ^み は、^め 見た ^{うつく} 目が ^{うつく} とても ^{うつく} 美 ^{うつく} しい ^{うつく} です。

교토의 화과자는 걸모습이 정말 아름다워요.

44. ^{きせつ} 季節 ^{はな} の ^{こうよう} 花 ^{かたち} や、^{かたち} 紅葉 ^{かたち} の ^{かたち} 形 ^{かたち} を ^{かたち} か ^{かたち} た ^{かたち} ど ^{かたち} った ^{かたち} も ^{かたち} の ^{かたち} も ^{かたち} あ ^{かたち} っ ^{かたち} て、^た 食 ^た べる ^た の ^た が ^た も ^た っ ^た たい ^た ない ^た くら ^た い ^た で ^た す。

계절 꽃이나 단풍 모양을 본뜬 것들도 있어서, 먹기 아까울 정도예요.

45. ^{まっちゃ} 抹茶 ^{いっしょ} と ^{わがし} 一 ^た 緒 ^{にが} に ^{あま} 和菓子 ^{ほんとう} を ^{ほんとう} 食 ^{ほんとう} べ ^{ほんとう} る ^{ほんとう} と、^{ほんとう} 苦 ^{ほんとう} さ ^{ほんとう} と ^{ほんとう} 甘 ^{ほんとう} さ ^{ほんとう} の ^{ほんとう} バ ^{ほんとう} ラ ^{ほんとう} ン ^{ほんとう} ス ^{ほんとう} が、^{ほんとう} 本 ^{ほんとう} 当 ^{ほんとう} に ^{ほんとう} ち ^{ほんとう} ょ ^{ほんとう} う ^{ほんとう} ど ^{ほんとう} い ^{ほんとう} い ^{ほんとう} ん ^{ほんとう} です ^{ほんとう} よ ^{ほんとう} ね。

말차와 함께 화과자를 먹으면 쓴맛과 단맛의 균형이 정말 딱 좋아요.

46. ^{きょうと} そして、^{きょうりょうり} 京都 ^{でんとうてき} には、^{りょうり} "京 ^{りょうり} 料理" ^{りょうり} とい ^{りょうり} う、^{りょうり} 伝 ^{りょうり} 統 ^{りょうり} 的 ^{りょうり} な ^{りょうり} 料 ^{りょうり} 理 ^{りょうり} も ^{りょうり} あ ^{りょうり} り ^{りょうり} ます。

그리고 교토에는 '교료리'라는 전통 요리도 있어요.

47. ^{きょうりょうり} 京 ^み 料 ^め 理 ^{じょうひん} は、^{あじ} 見た ^{すこ} 目が ^{うす} 上 ^{やさ} 品 ^{とくちょう} で、^{とくちょう} 味 ^{とくちょう} は ^{とくちょう} 少 ^{とくちょう} し ^{とくちょう} 薄 ^{とくちょう} め ^{とくちょう} で、^{とくちょう} 優 ^{とくちょう} しい ^{とくちょう} の ^{とくちょう} が ^{とくちょう} 特 ^{とくちょう} 徴 ^{とくちょう} です。

교료리는 보기에 우아하고, 맛은 조금 슴슴하고 부드러운 게 특징이에요.

48. ^{なか} その ^{なか} 中 ^{なか} で ^{なか} も、^{ことば} "お ^{おぼ} ば ^{おぼ} ん ^{おぼ} ざ ^{おぼ} い" ^{おぼ} とい ^{おぼ} う ^{おぼ} 言 ^{おぼ} 葉 ^{おぼ} を、^{おぼ} 覚 ^{おぼ} えて ^{おぼ} お ^{おぼ} く ^{おぼ} と ^{おぼ} い ^{おぼ} い ^{おぼ} か ^{おぼ} も ^{おぼ} し ^{おぼ} れ ^{おぼ} ま ^{おぼ} せ ^{おぼ} ん。

그중에서도 '오반자이'라는 말을 기억해 두면 좋을 것 같아요.

49. "お ^{きょうと} ば ^{かてい} ん ^{むかし} ざ ^た い" ^た とい ^{ふだん} う ^{ふだん} の ^{ふだん} は、^{ふだん} 京 ^{ふだん} 都 ^{ふだん} の ^{ふだん} 家 ^{ふだん} 庭 ^{ふだん} で ^{ふだん} 昔 ^{ふだん} か ^{ふだん} ら ^{ふだん} 食 ^{ふだん} べ ^{ふだん} ら ^{ふだん} れ ^{ふだん} て ^{ふだん} き ^{ふだん} た、^{ふだん} 普 ^{ふだん} 段 ^{ふだん} の ^{ふだん} お ^{ふだん} か ^{ふだん} ず ^{ふだん} の ^{ふだん} こ ^{ふだん} と ^{ふだん} です。

'오반자이'라는 건 교토 가정에서 예로부터 먹어온 평범한 반찬을 말해요.

50. ^{こうきゅう} 高級 ^{りょうり} な ^{りょうり} 料 ^{りょうり} 理 ^{りょうり} で ^{りょうり} は ^{りょうり} な ^{りょうり} く ^{りょうり} て、^{りょうり} 野 ^{りょうり} 菜 ^{りょうり} や ^{りょうり} 豆 ^{りょうり} を ^{りょうり} 使 ^{りょうり} っ ^{りょうり} た、^{りょうり} 体 ^{りょうり} に ^{りょうり} 優 ^{りょうり} しい ^{りょうり} 家 ^{りょうり} 庭 ^{りょうり} の ^{りょうり} 味 ^{りょうり} な ^{りょうり} ん ^{りょうり} です ^{りょうり} ね。

고급 요리가 아니라 채소나 콩을 사용한, 몸에 좋은 집밥 같은 맛이에요.

51. 京都^{きょうと}に行ったら、ぜひ食^いべてみてほ^たしいなと思^{おも}います。

교토에 가시면 꼭 한번 드셔보셨으면 좋겠어요.

52. 少^{すこ}しだけ、お知^しらせさせてください。

잠깐 알려드릴 게 있어요.

53. 私^{わたし}は、オンラインの日本^{にほんご}語^ごス쿨^{스쿨}で、日本^{にほんご}語^ごを教^{おし}えています。

저는 온라인 일본어 스쿨에서 일본어를 가르치고 있어요.

54. "日本^{にほんご}語^ご,もっ^{はな}と話^{はな}せるようになりた^{おも}いな" そう思^{おも}ったら、無^む料^{りょう} 体^{たい}験^{けん} レッス^るン,気^き軽^{がる}に
受^うけてみてくだ^さいね。

"일본어를 더 잘하고 싶다"는 생각이 드신다면, 무료 체험 레슨을 편하게 받아보세요.

55. くわしくは、概^{がい}要^{よう} 欄^{らん}からチエックしてみてくだ^さい。

자세한 내용은 설명란에서 확인해 주세요.

56. さて、話^{はな}を戻^{もど}して、京^{きょうと}都^となら ではの文^{ぶん}化^かの 話^{はな}を、少^{すこ}ししたいと思^{おも}います。

자, 다시 이야기로 돌아가서 교토만의 문화 이야기를 조금 해볼게요.

57. 皆^{みな}さんは、舞^{まい}妓^こさんを知^しっていますか？

여러분은 마이코를 아세요?

58. "舞^{まい}妓^こさん"というのは、きれいな着^き物^{もの}を着^きて、お 客^{きやく} さんの前^{まえ}で踊^{おど}りや音^{おん}楽^{がく}を披^{ひろ}露^{ろう}す
る, 若^{わか}い女^{じょ}性^{せい}のことです。

'마이코'란 예쁜 기모노를 입고 손님 앞에서 춤과 음악을 선보이는 젊은 여성을 말해요.

59. 白^{しろ}いお化^け粧^{しょう}をして、髪^{かみ}に美^{うつく}しい飾^{かざ}りをつけています。

하얗게 화장을 하고, 머리에는 아름다운 장식을 달고 있어요.

60. 京^{きょうと}都^との祇^ぎ園^{おん}というエリ^{ある}アを歩^{ある}いていると、たまに、本^{ほん}物^{もの}の舞^{まい}妓^こさんにあ^あえることがあ
ります。

교토의 기온이라는 지역을 걷다 보면, 가끔 진짜 마이코를 만날 수 있어요.

61. その姿^{すがた}は、まるで、昔^{むかし}の日本^{にほん}の絵^えから 抜^ぬけ出^だしてきたよう^うで、とて^{うつく}も美^{うつく}しいです^すよ。

그 모습이 마치 옛 일본 그림에서 빠져나온 것 같아서, 정말 아름다워요.

62. ただし、観^{かん}光^{こう} 客^{きやく}が^ふ増^ふえすぎ^ふて、舞^{まい}妓^こさん^{むり}を無^む理^りに追^おいかけたり、勝^{かつ}手^てに写^{しゃ}真^{しん}を撮^とった
りする^{もんだい}ことが、問^も題^{だい}になっ^てています。

다만 관광객이 너무 많아져서, 마이코를 억지로 쫓아다니거나 마음대로 사진을 찍는 게 문제가 되고 있어요.

63. ^あなので、もし^{やさ}会えたとしても、^{みまも}そっと、優しく見守ってあげてくださいね。

그러니 혹시 만나게 되더라도 조용히, 다정하게 지켜봐 주세요.

64. ^{きょうと}それから、^{まちや}京都には、^よ"町家"と呼ばれる、^{ふる もくそう いえ}古い木造の家が^{のこ}たくさん残っています。

그리고 교토에는 '마치야'라고 불리는 오래된 목조 가옥이 많이 남아 있어요.

65. ^{まちや}"町家"というのは、^{むかし}昔^{ほそなが つく いえ}ながらの、細長い作りの家のことです。

'마치야'라는 건 옛날 방식 그대로의, 폭이 좁고 긴 구조의 집을 말해요.

66. ^{さいきん}最近^{まちや かいそう}は、その町家を^{みせ}改装して、^{おお}おしゃれなカフェや^{おお}お店にしているところも多いです。

요즘은 그 마치야를 개조해서 세련된 카페나 가게로 만든 곳도 많아요.

67. ^{ふる たてもの なか あたら たの}古い建物の中で、^{たの}新しいものを楽しむ。

오래된 건물 안에서 새로운 것을 즐긴다.

68. ^{きょうと}このバランスが、^{すてき}京都らしくて^{おも}素敵だと思います。

이런 균형이 정말 교토답고 멋지다고 생각해요.

69. ^{みな}ところで、^{きょうと}皆さんは、^{ひと い かた とおまわ}"京都の人は言い方が^{はなし き}遠回しだ"という話を聞いたことがありますか？

그런데 여러분, "교토 사람들은 말을 돌려서 한다"는 이야기, 들어보신 적 있으세요?

70. ^{ゆうめい はなし}これは、^{ゆうめい}けっこう有名な話^{はなし}なんですよ。

이거 꽤 유명한 이야기예요.

71. ^{たと ゆうめい れい}例えば、^つ有名な例として^{はなし}"ぶぶ漬け"の話^{はなし}があります。

예를 들면, 유명한 예로 '부부즈케' 이야기가 있어요.

72. ^つ"ぶぶ漬け"というのは、^{ちゃづ}お茶漬け^{はん}のことです。ご飯^{ちゃ}にお茶^{かんたん た}をかけた、^{もの}簡単な食べ物^{もの}ですね。

'부부즈케'라는 건 오차즈케를 말해요. 밥에 차를 부어 먹는 간단한 음식이죠.

73. ^{むかし}昔^{はなし い}から、^いこんな話^いが^い言^いわれて^いいます。

옛날부터 이런 이야기가 전해지고 있어요.

74. ^{きょうと いえ}京都^{なが}の家^{いえ}に^{ひと}長く^ついると、^い家^いの^い人^いが、^い"ぶぶ漬け^いでも^いどう^いですか？"と^い言^いう^いこと^いが^いある^いそ^いう^いです。

교토 사람 집에 오래 머무르면, 그 집 사람이 "부부즈케라도 드시겠어요?"라고 말하는 경우가 있대요.

75. これは、一見^{いっけん}, "ごはんを食べていってください" という意味^{いみ}に聞こえますよね。

이건 얼핏 "밥 먹고 가세요"라는 뜻으로 들리잖아요.

76. でも、本当^{ほんとう}の意味^{いみ}は, "そろそろ帰^{かえ}てくださいね" という、遠回^{とおまわ}しなサインだと言^いわれているんです。

하지만 진짜 의미는 "이제 그만 가주세요"라는 뜻을 돌려서 전하는 신호라고 해요.

77. おもしろ
面白^{おもしろ}いですよね。

재미있죠.

78. これは、有名^{ゆうめい}な言^いい伝^{つた}えのようなもので、本当^{ほんとう}に毎回^{まいかい} そうだというわけではありませ

ん。
이건 유명한 속설 같은 거라서, 정말 매번 그렇다는 건 아니예요.

79. でも、京都^{きょうと}の人^{ひと}は、はっきり言^いわずに、やわらかく気持^{きも}ちを伝^{つた}える、という文化^{ぶんか}があると言^いわれています。

하지만 교토 사람들은 확실히 말하지 않고 부드럽게 마음을 전하는 문화가 있다고 해요.

80. 直接^{ちよくせつかえ} "帰^いって"と言^きうと、きつく聞^{きこ}えるので、遠回^{とおまわ}しに伝^{つた}えるんですね。

직접 "가세요"라고 하면 너무 세게 들리니까, 돌려서 전하는 거예요.

81. これは、相手^{あいて}を傷^{きず}つけないための、優^{やさ}しさでもあるのかもしれません。

이건 상대방에게 상처 주지 않으려는 배려일 수도 있어요.

82. 韓国^{かんこく}語^ごにも、日本^{にほん}語^ごにも、こういふ"遠回^{とおまわ}しな言^いい方^{かた}"って、ありますよね。

한국어에도, 일본어에도 이런 "돌려 말하기"가 있잖아요.

83. 皆^{みな}さんの国^{くに}では、どうですか？ さて、次^{つぎ}は 京都^{きょうと}の季^き節^{せつ}の話^{はなし}をしたいと思います。

여러분 나라에서는 어떠세요? 자, 다음은 교토의 계절 이야기를 해볼게요.

84. 京都^{きょうと}は、季^き節^{せつ}によつて、全^{まった}く違^{ちが}う 表^{ひょう}情^{じょう} を見^みせてくれます。春^{はる}は、桜^{さくら}です。

교토는 계절에 따라 완전히 다른 모습을 보여줘요. 봄에는 벚꽃이에요.

85. お寺^{てら}や川^{かわ}のそばに咲^さく 桜^{さくら}は、本当^{ほんとう}に美^{うつく}しくて、た^{ひと}くさん^みの^き人^きが見^みに來^きます。

절이나 강가에 피는 벚꽃은 정말 아름다워서, 많은 사람들이 보러 와요.

86. そして、秋^{あき}は、紅^{こう}葉^{よう}です。

그리고 가을에는 단풍이에요.

87. こうよう あき こ は あか きいろ か
"紅葉"というのは, 秋に, 木の葉が赤や黄色に変わることです。

'단풍'이라는 건 가을에 나뭇잎이 빨갱거나 노랗게 물드는 걸 말해요.

88. きょうと てら ま か こうよう く あ ことば うつく
京都のお寺と, 真っ赤な紅葉。この組み合わせは, 言葉にできないくらい美しいですよ。

교토의 절과 새빨간 단풍. 이 조합은 말로 표현할 수 없을 만큼 아름다워요.

89. わたし きょうと い はる あき おも
私は, もし京都に行くなら, 春か秋がおすすめですと思っています。

저는 교토에 간다면 봄이나 가을을 추천하고 싶어요.

90. ただ, きせつ かんこうきゃく おお
ただ, その季節は, 観光客がとても多くなります。

다만 그 계절에는 관광객이 아주 많아져요.

91. ゆっくり しず たの ひと あさはや で
ゆっくり静かに楽しみたい人は, 朝早く出かけるのがいいかもしれませんね。

조용히 여유롭게 즐기고 싶은 분들은 아침 일찍 나가보는 게 좋을 것 같아요.

92. さて, きょうと かんこう つか にほんご しょうかい おも
さて, ここで, 京都の観光で使える日本語を, いくつか紹介したいと思います。

자, 여기서 교토 관광에서 쓸 수 있는 일본어를 몇 가지 소개해 드릴게요.

93. まず, しゃしん と
まずは, "写真を撮ってもいいですか?"

먼저, "사진을 찍어도 될까요?"

94. これは, てら まちな しゃしん と つか ことば
これは, お寺や町並みで, 写真を撮りたいときに使う言葉です。

이건 절이나 거리 풍경에서 사진을 찍고 싶을 때 쓰는 말이에요.

95. ばしょ しゃしん と
場所によっては, 写真を撮ってはいけないところもあります。

장소에 따라서는 사진 촬영이 금지된 곳도 있어요.

96. ひとこと しゃしん と き あんしん ていねい
なので, 一言, "写真を撮ってもいいですか?" と聞くと, 安心ですし, 丁寧ですよ。

그러니까 한마디 "사진을 찍어도 될까요?"라고 물어보면 안심도 되고 예의도 바르겠죠.

97. そして, しゃしん と
そして, "ここで写真を撮りましょうか?"

그리고, "여기서 사진 찍어드릴까요?"

98. これは, だれ しゃしん と ことば
これは, 誰かに 写真を撮ってあげるときの言葉です。

이건 누군가에게 사진을 찍 줄 때 쓰는 말이에요.

99. こま かんこうきゃく み こえ よろこ
困っている観光客を見かけたら, こう声をかけてあげると, とても喜ばれますよ。

곤란해하는 관광객을 보면 이렇게 말을 걸어주면 정말 좋아하실 거예요.

